

生育状況は平年よりも7～10日早く推移し、大石早生の収穫始めは南部地域で6月20日頃と予想されます。
今後の防除は、受粉樹への散布や死角がないよう徹底しましょう。(特にシンクイムシ類)

1. プラム 薬剤散布 (第9回目～10回目の防除を掲載)

【第9回 定期防除】 『大石早生』 最終防除

・散布時期：	6月15日～24日頃 (第8回目の薬剤散布から約10日後)		
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 6月 日
	展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	・散布量 ℓ

5/26 スモモヒメシンクイ発生状況 (フェロモントラップ調査)

* () 内、前回 5/19 調査数

上今井：1頭(2) 草間：10頭(23) 一本木：17頭(31) 倭：20頭(19)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

【第10回 定期防除】

・散布時期：	6月25日～7月4日頃 (第9回目の薬剤散布から約10日後)		
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 月 日
	展着剤 (まくぴか)	20ml	・散布量 ℓ

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参下さい。

次ページにブルーネン防除、収穫開始予想を掲載しております。内容をご確認下さい。

2. プルーン 薬剤散布（第5回目）

・散布時期： 6月12日～19日（第4回目の防除から約14日後）

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日	6月	日
・散布量		ℓ

展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
フリントフロアブル25	50ml	（前日、2回）
劇ダースバンDF	33g	（14日前、2回）
劇バリアード顆粒水和剤	50g	（前日、2回）

・対象病害虫：灰星病、炭そ病、アブラムシ類、シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ

・散布量：10a当り 500ℓ

・注意事項

摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので、土中深く埋めるか、園外へ除去する。

3. 今後の管理

＊徒長枝の整理を実施する。

＊園地の除草を徹底し、コスカシバ、シンクイムシ類対策も含め園内はたえずきれいにしておく。

＊笠掛け（貴陽・太陽・シナノパール） 裂果対策として6月下旬を目安として実施する。

●写真：プラム黒斑病（かいよう病）

特に、紅りょうぜん・菅野中生・秋姫で、発生が心配される園地は防除の徹底を図りましょう！

発生初期



発生中期



（収穫開始予想）

「南部地域」で、平年より10日前後早まった場合。今後の気象状況（収穫前の気温日照量、降水量など）によって前後します。 参考：本年のプラム太陽の満開日4/8（平年比▲12日）

・大石早生	-	6月20日頃	・紅りょうぜん	-	7月5日頃
・サントス	-	7月10日頃	・菅野中生	-	7月10日頃
・ソルダム	-	7月18日頃	・サマーエンジェル	-	7月20日頃